



T-BOX



T-BOX

"その箱の中は、快適と
幸福であふれている"

シンプルながら目を引く
個性的なキューブ状の家には、
快適に楽しく暮らす
アイデアや工夫がいっぱい。

2人で立てる洗面所は、
脱衣所から分離することで実現。

さらに、脱衣所を
ランドリールームとして活用することで、
花粉や雑菌の心配のある外干しより
清潔で家事動線も快適。
新しい暮らし方のヒントが詰まった
玉手箱のような家です。

建築

キューブ型のデザイン



大きな軒と袖壁で構成されるフレームが目を引くキューブ型のファサードデザイン。迫り出した大きな軒が、室内への過剰な直射日光を遮り、適量な日光だけを送り込み、室外ではポーチや家周りに自転車等も置きやすく、生活に広がりを持たせてくれます。

外壁材

アクセント壁



正面のみデザイン性の高い外壁材を張ることによって、ミニマルなデザインに仕上がっています。プライバシーを守る目隠し、また外壁を風雨から守るという機能も果たしてくれます。

標準仕様

厳選した推奨商品



強くて軽い外壁や、インテリア性の高い洗面台、天然の石のアクセントパネルや耐久性の高い雨樋など、厳選された魅力的な標準仕様。一つ一つのディテールで住宅の完成度が圧倒的に高まります。

耐震性

コストパフォーマンスに優れた地震に強い家

耐震等級 3



柱などの構造材を1本1本強度の計算を行うことで安全性を確実なものにしています。しかも計算の基準は木構造における最も厳しい基準「耐震等級3」で計算。これは震度6～7の地震でも、軽い補修で住み続けられるレベルです。

断熱性

それはまるで魔法瓶のような家

国が目指す
次世代基準の断熱性能

HEAT20

冬でも体感温度が概ね10℃を下回らず、一年を通して快適。ヒートショックを防ぎ、風邪をひきにくく健康に過ごすことができます。省エネ基準をクリアしているので、光熱費の節約にも繋がります。

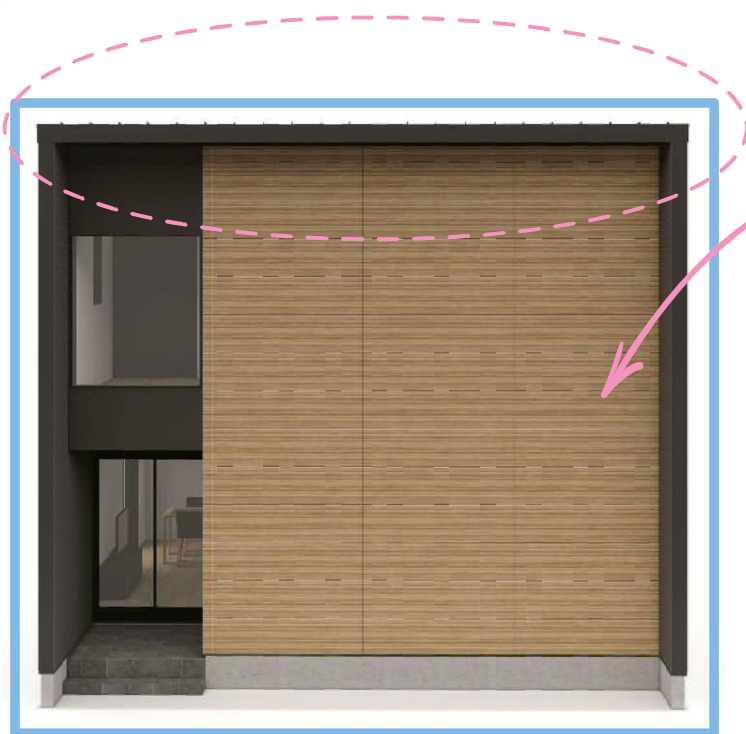
T-BOXの形

大きな軒と袖壁で構成されるフレームが目进行くキューブ型のファサードデザインです。



迫り出した軒

室内への直射日光を遮り、
適量な日光だけを室内に送り込むよう
考案て計画しています。



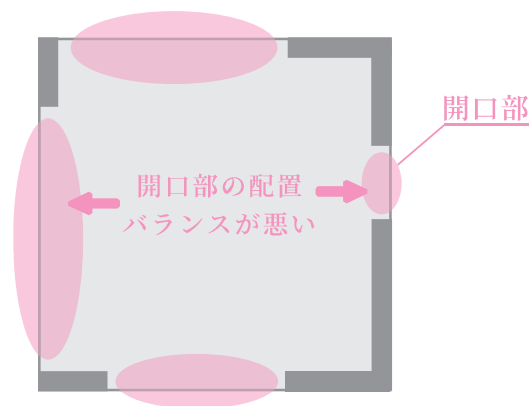
アクセント壁

正面のみ意匠性のある外壁材を張る
ことで、他にはない独自性のある
外観を演出することが出来ます。

バランスの良い耐震設計

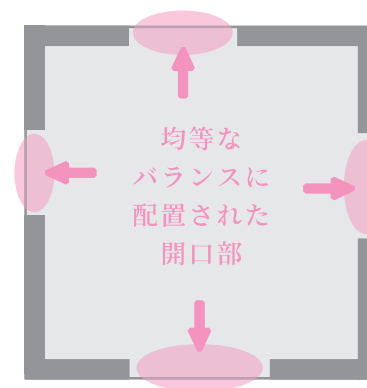
適切な位置に配置された壁は、大きな地震が起きた際、地震のエネルギーを上手に分散し、建物の倒壊を防ぎます。
さらに、壁の配置と同時に窓の配置を考慮した設計。
丈夫だけでなく、きちんと採光し日当たりを確保できます。

バランスが **悪い** 壁配置



地震のエネルギーが偏ってしまい、
建物の倒壊につながりかねません。

バランスが **良い** 壁配置

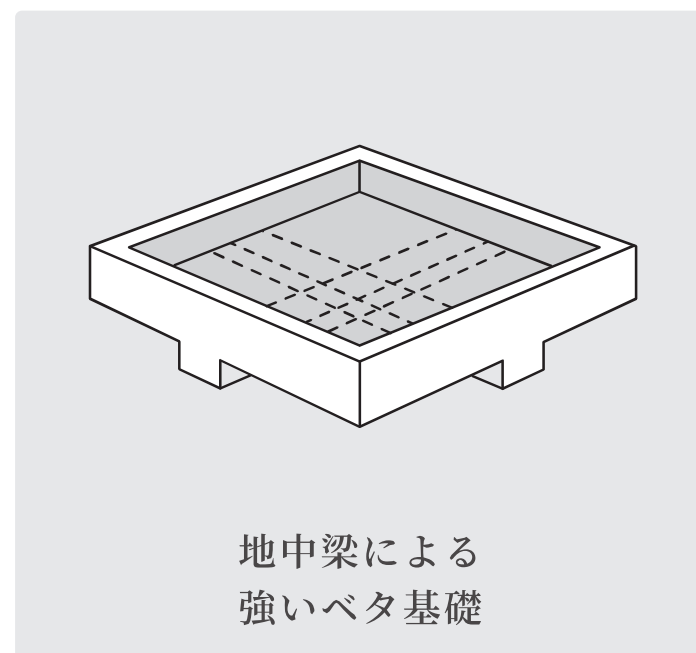
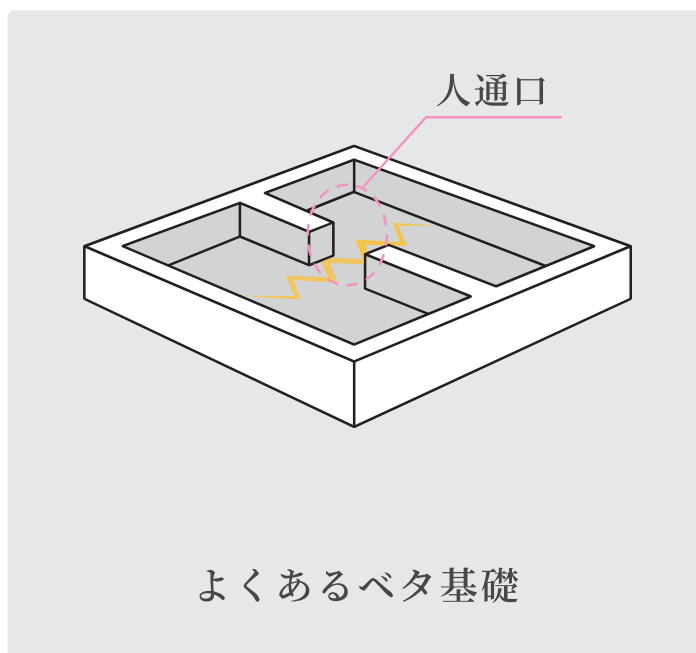


窓の配置を意識しながら、
万一の時にも、しっかり建物を守ります。

基礎について

基礎とは、建物を支えるコンクリート部の構造体をいいます。普段の生活で目にする機会が少ない基礎ですが、地震や地盤沈下などから建物を守るための大変重要な部分です。

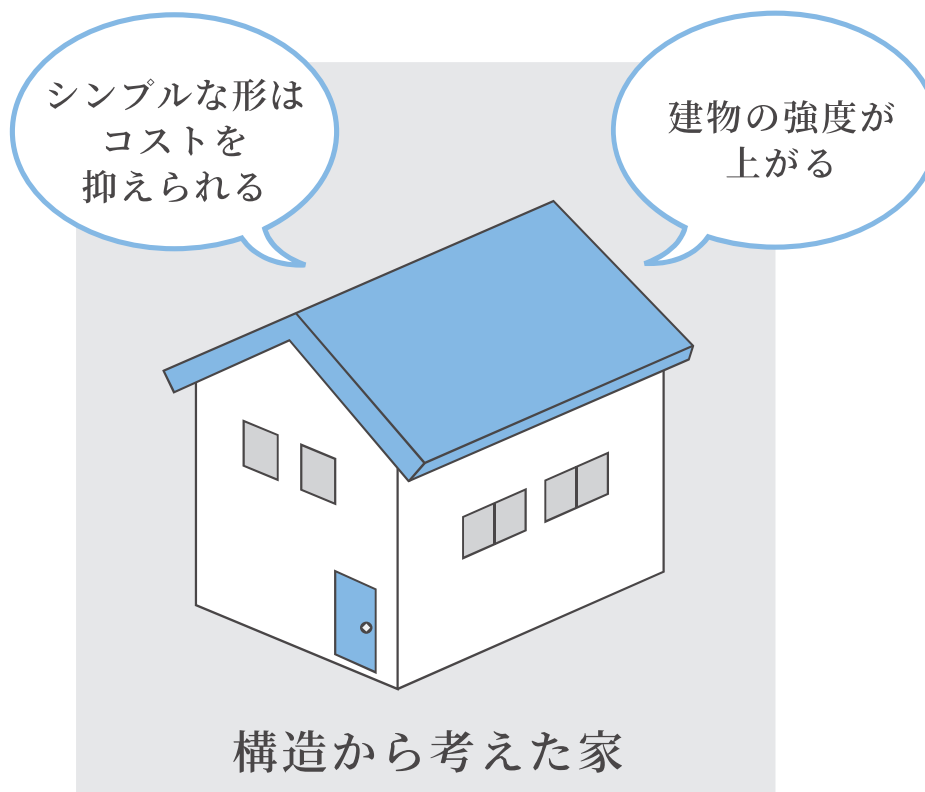
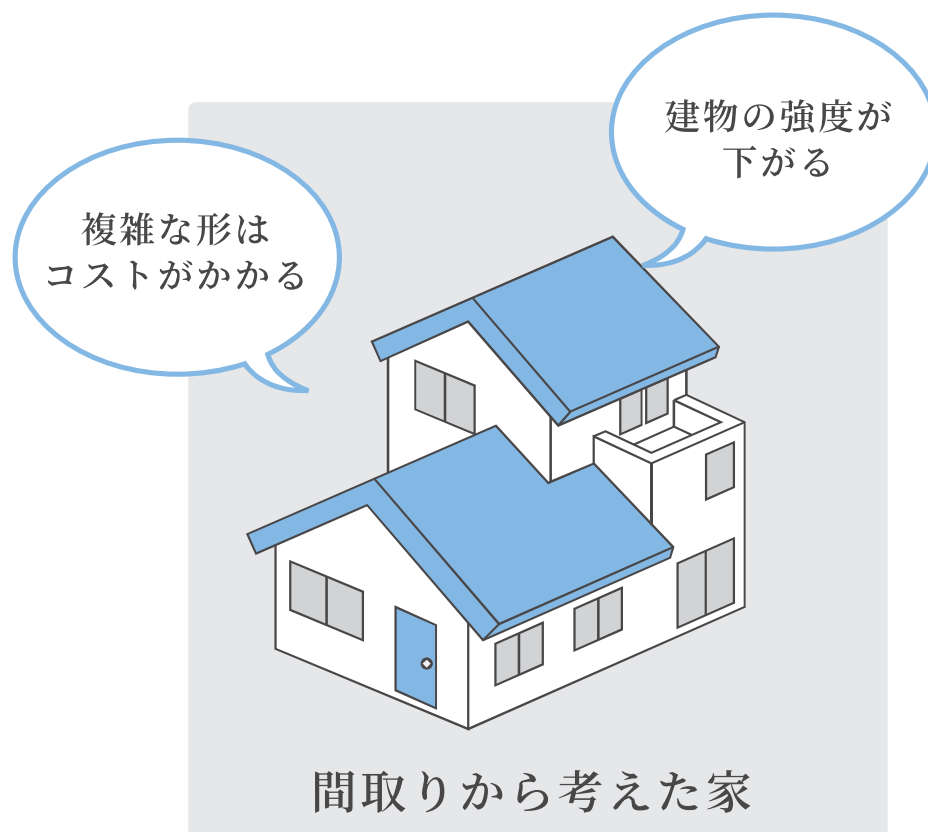
T-BOXでは、構造計算に基づく丈夫な基礎形式である地中梁工法によるベタ基礎を採用。家を支える基礎部分で、大切な家族と家を守ります。



上部構造について

強い構造を作るということは、強い家のかたちにするということ。

強さを担う建物のかたちは、デザインにこだわるよりもバランスが大事です。

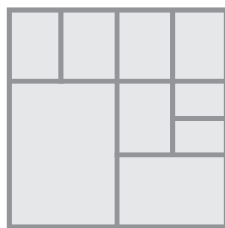


スケルトン・インフィル

7壁の代わりに外周部を構造体にすることで、自由な間取りを実現。

生活様式で間取りは変わるもの。地震に負けないスケルトンに、変化するインフィルでなくてはならないのです。

一般的な住宅

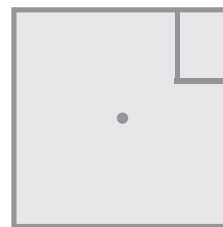


壁量計算

壁を増やすことで強度を強く

壁の位置を変えられないので、
間取りを変更できない。

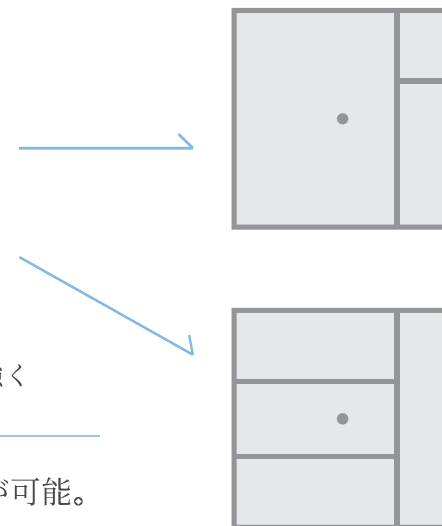
T-BOX



許容応力度計算

外周部を構造体にすることで強度を強く

箱形の構造躯体なので、間取り変更が可能。
ライフステージに合わせて自由にアレンジ。



耐震等級とは

耐震等級とは、地震に対する建物の強さを表す等級のこと。

耐震等級は1～3まであり、数字が大きい方がより耐震性に優れているということになります。

柱などの構造材を1本1本、強度の計算を行うことで安全性を確実なものにしています。

しかも、計算の基準は木構造における最も厳しい基準「耐震等級3」で計算しており、これは震度6強～7の地震でも軽い補修で住み続けられるレベルです。

“震度7”の地震が起きても...

耐震等級

1



命は守れるが
建物が崩れる。

耐震等級

2



建物は崩れないが
大規模な補修が必要。

耐震等級

3



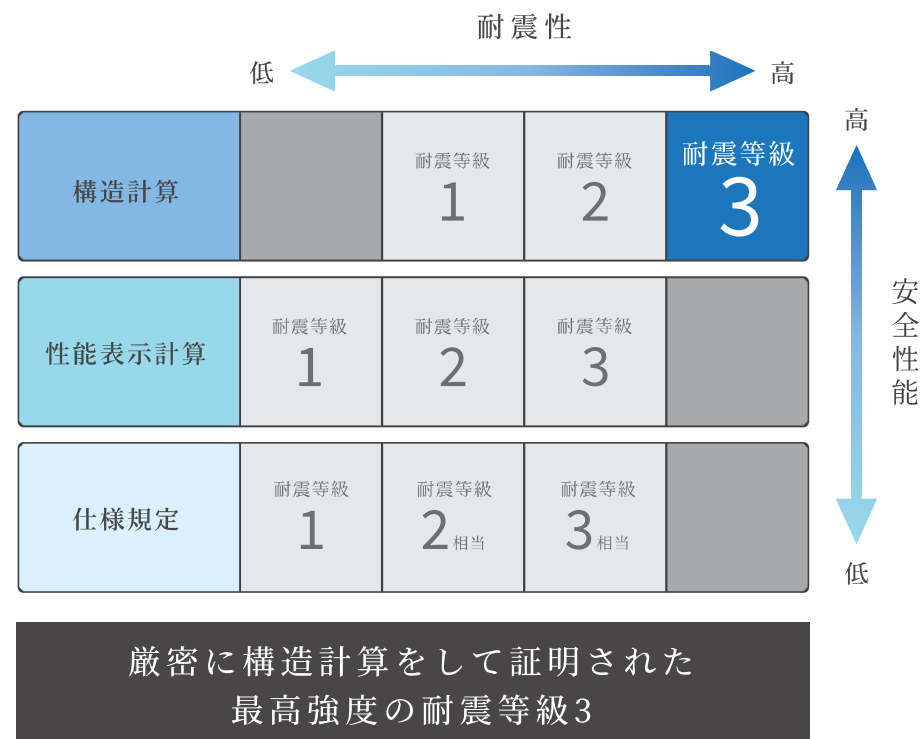
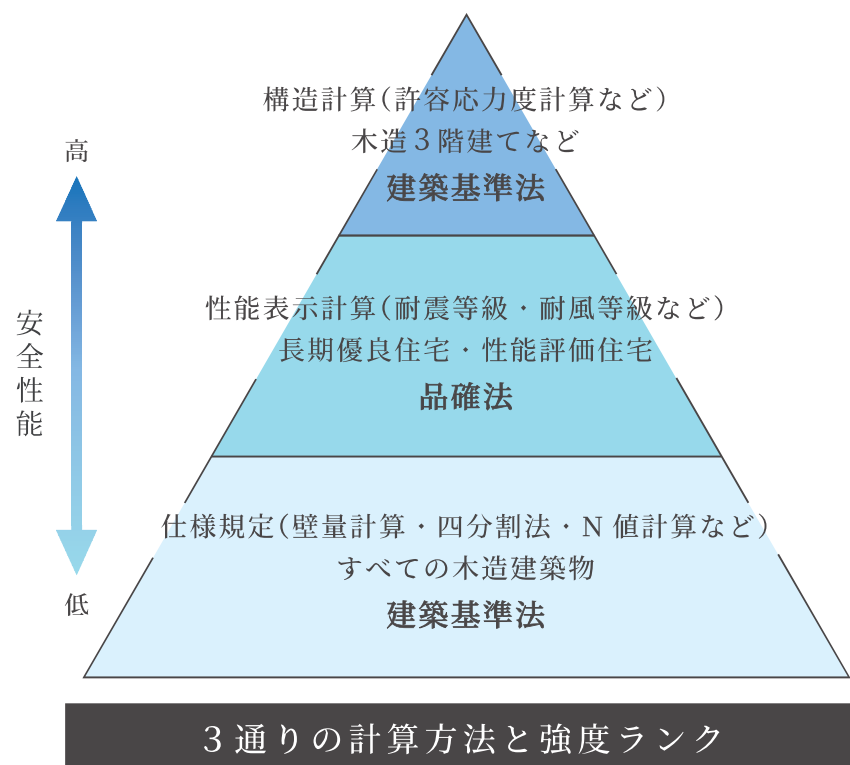
軽微な補修で
そのまま住み続けられる。

耐震等級 3



構造計算とは

特例により構造計算書が必要なのは木造3階建て以上の建物ですが、2階建てであっても構造計算書をお付けします。
適正な構造計算によって、材料コストを抑えることができます。



断熱性能について

断熱性能がよければ、まるで魔法瓶のように外側の影響を受けない家を実現し、光熱費が下がります。
地球環境を考えても、これからは燃費のよい家が求められています。

国が目指す
次世代基準の断熱性能

HEAT20

体感温度

冬の最低体感温度が
概ね10℃を
下回らない

光熱費を抑える

省エネ基準や
ZEH基準よりも
経済的

健康な身体に

ヒートショックを防ぎ
風邪を引きにくい
健康な身体に

気密性能について

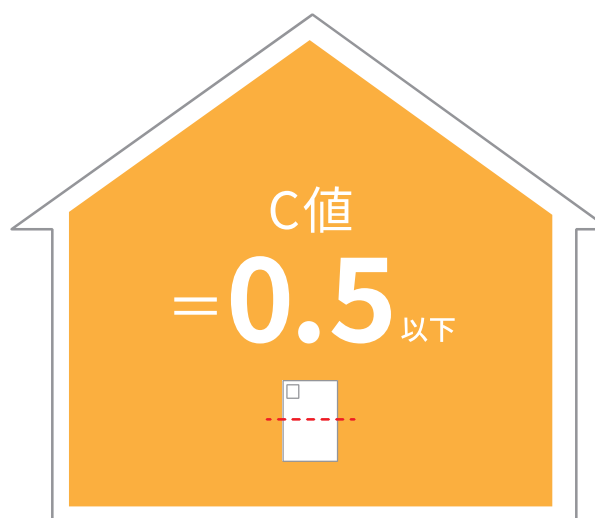
住宅の隙間をできる限り減らして気密性を高め、高性能の換気システムによって室内の快適できれいな空気を効率的に維持し、健康的な室内環境をつくり出します。

一般的な住宅



家全体で約ハガキ5枚分の隙間

高気密住宅



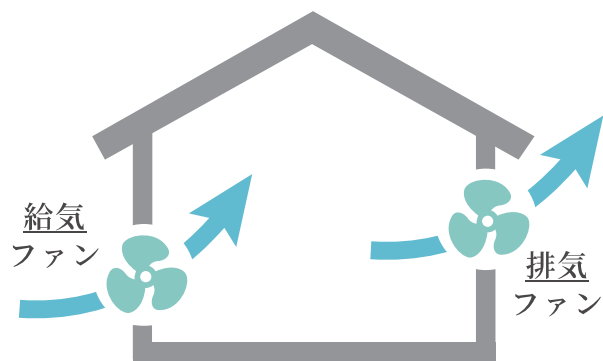
家全体で約ハガキ半分の隙間

C値

C値とは、住宅における相当隙間面積のことです。建物全体にある隙間面積(㎡)を延床面積(㎡)で割った数値で、建物の気密性能の指標として用いられています。

換気性能について

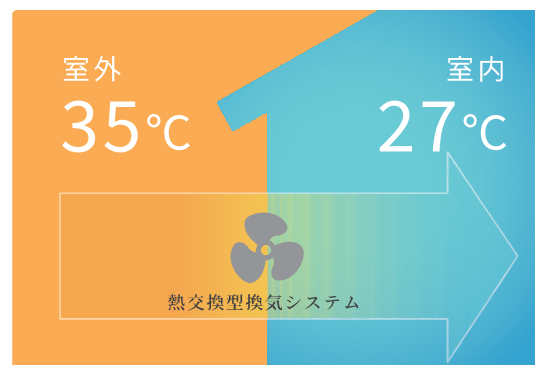
窓を開けると夏には熱気が、冬には寒気が入り込みます。窓を開けずに新鮮な空気を取り込める「第一種換気システム」を計画的に設置し、室内の隅まできれいな空気を行き渡らせることができます。



第一種換気システム

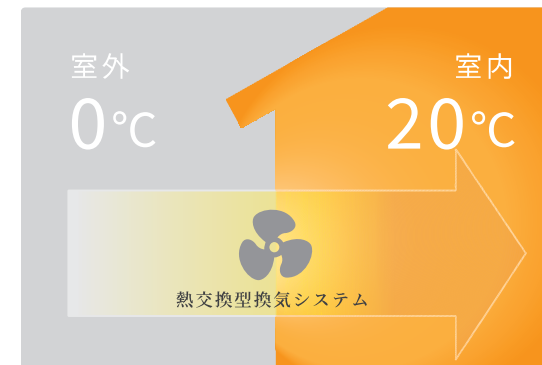
給気と排気に機械を利用して換気をコントロール。熱交換型換気装置で、外の気温を室内の気温になるべく近付けて取り込むことができます。

冷房時



35°Cの外気を27°Cにして室内に給気

暖房時



0°Cの外気を20°Cにして室内に給気

外観カラー

5 colors



イルミオグレー × アグレアブラック



イルミオネイビー × アグレアブラック



イルミオブラック × アグレアブラック



グラニットホワイト × アグレアブラック



ウェーブブラウン × アグレアブラック

LDK



Bedroom



Kitchen



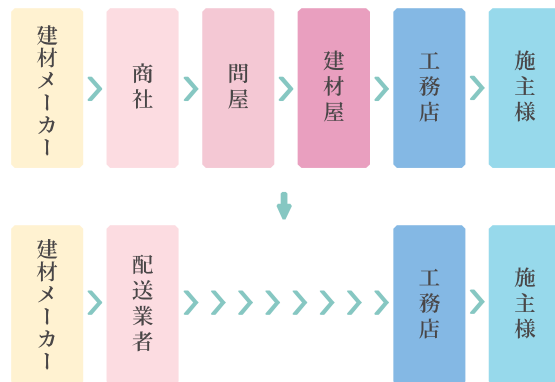
WIC



コストを抑えるポイント ①材料

Point 1

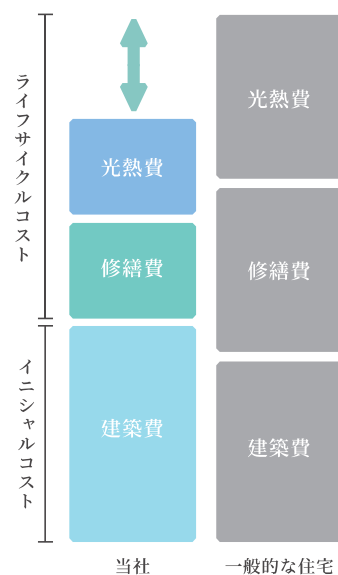
中間マージンを省く



中間業者を介さないで、
無駄な経費をカットできます。

Point 2

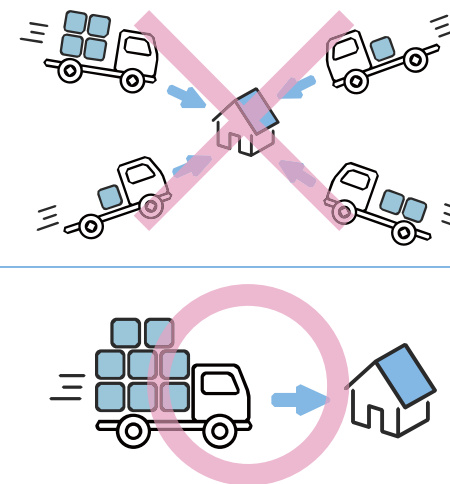
維持費を抑える素材



良い素材を使うことで、
メンテナンス回数を削減。

Point 3

輸送費の削減

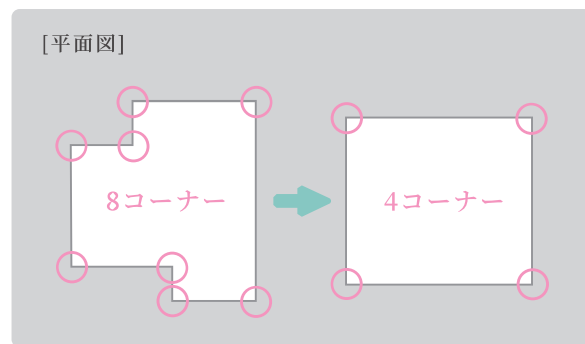


遠方からバラバラと取り寄せず、
近隣でまとめて手配することで
輸送コストを大幅ダウン。

コストを抑えるポイント ②工賃

Point 1

シンプルな形の家で
作業工数を大幅カット

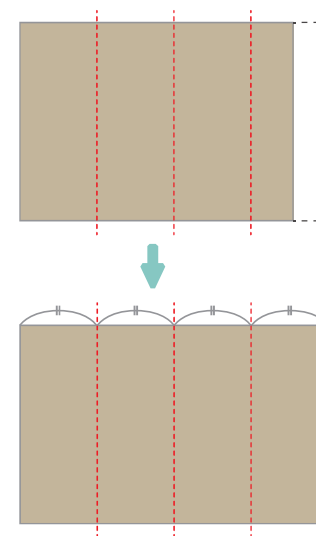


シンプルな構造躯体で、材料と工数を削減。

複雑な形の家では、
職人の手間も材料費も
アップしてしまいます。

Point 2

材料を無駄なく使う



中途半端なサイズは現場作業を増やす要因に。
材料の幅をあらかじめ揃えておくことで、
作業工数を減らします。

コストを抑えるポイント ③経費

Point 1

設計費

例えば **2800**万円 の建物の場合

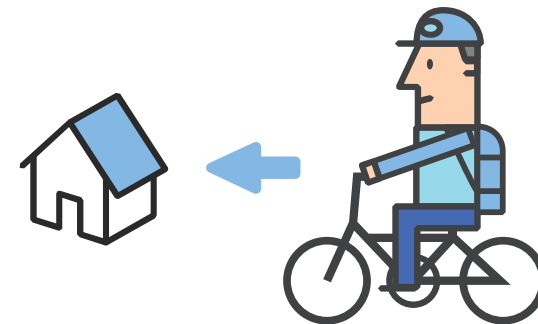
建築士に依頼	ハウスメーカー
10%~15%	5%~ +建築費に上乗せ
280 万円 ~ 420 万円	140 万円



100万円
で、収められます！

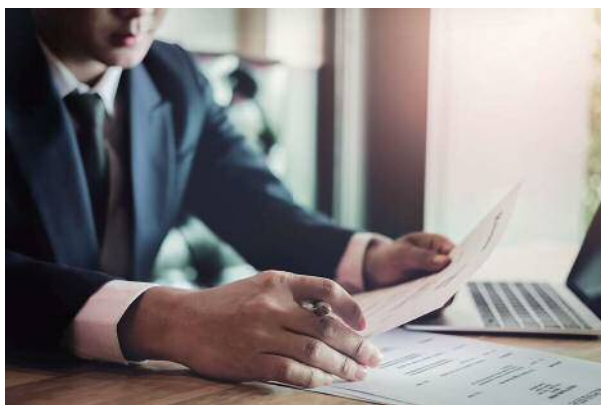
Point 2

職人の移動費を削減



現場に近い優秀な職人に依頼することで
移動費を削減。限られた工期を、
有意義に活用することができます。

長期保証60年



永く暮らしていく住まいだからこそ定期的な点検は大切です。第三者であるプロがチェックし、長期的に住まいの価値を維持するためのメンテナンスを行います。

設備保証10年



給湯器やシステムキッチンといった設備機器に関して、10年と長めに補償。高額になりがちな修理代金の心配がありません。

24時間 アフターメンテナンス



鍵の不具合や窓ガラスの破損など、急を要するトラブルにも安心の、いつでも駆けつけサービス付きです。

6回の品質チェック

工務店が設計図面通りに正確に施工しているか、基礎の段階から完成まで計6回、設計士が現場で確認。その監理も設計費用に含まれています。

1

基礎配筋
(検査)

鉄筋の規格・基礎配筋が
計算書通りに適切に行わ
れているかを確認します。



2

基礎出来型・土台
(検査)

基礎コンクリートの出来
上がり状態、また、土台の
施工状態や水平状態を確
認します。



3

屋根ルーフィング
・構造体(検査)

屋根防水下地が適切に施
工されているかを確認し
ます。



4

耐力壁・構造金物
(検査)

構造体である柱や梁、接
合部の構造金物が適切に
施工されているかを確認
します。



5

防水(検査)

壁やサッシ廻り、配管廻
り等の防水と止水処理状
態を確認します。



6

完了時(検査)

内外部仕上げ、サッシ・建
具・換気・火災報知器に問
題がないかを確認しま
す。



家づくりの流れ

